

ひとことめし  
一言主

浅見 宣義



未来の安心につなぐ、

湖北の医療を考える

1 湖北の医療を支えてきた現場の力  
長浜市を含む湖北圏域では、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、長浜赤十字病院、セフィロト病院の4病院を中心に、各医療機関が連携し、市民の命と暮らしを支える医療体制が医療従事者の皆さんの献身によって築かれてきました。救急、入院、専門医療を身近な地域で受けられることは、市民の安心であり、誇りです。

## 2 将来世代にも関わる厳しい課題

一方で、人口減少やコロナ後の受療動向の変化により患者数は減少傾向にあり、物価高騰や人件費・医療材料費の増加も重なって、市立2病院の経営は厳しい局面を迎えています。このまま赤字が続けば、将来的には100億円を超える規模の財政支援が必要となり、市の基金、つまり将来世代への蓄えにも深刻な影響を及ぼしかねません。これは病院だけでなく、福祉、教育、子育て、道路や公共施設の維持など、市民生活

全般に関わる課題です。国でも2040年を見据え、救急、在宅医療、介護連携、医師確保を含めた新たな地域医療構想の検討が進んでおり、これまでの湖北の医療の見直しはその方向性とも合致するものです。

## 3 未来の医療を守るための対話へ

この認識のもと、市では「長浜市病院再建・再編推進本部」を設置し、将来の地域医療を守るため、市立病院の再建と再編について検討を始めました。

新たな財政支援を具体的に考えていきますが、単なる赤字補填ではなく、10年、15年先の医療体制を守るための支援としていくことが大切であり、一体的に検討します。今後は、市民の皆さんをはじめ、議会、病院現場、関係機関と課題を共有しながら、必要な医療機能、役割分担、支援のあり方を議論し、結論を出してまいります。限られた時間の中で未来の市民への責任を果たせる答えをともに見出し、安心して暮らせる長浜の医療を地域全体で支えていきましょう。



▲長浜市病院再建・再編推進本部

## お元気ですか

市立長浜病院  
摂食嚥下障害看護認定看護師  
山科 雄一

最近むせやすくなっていますか？

食事でも気をつけたい

3つのポイント

食事中に咳き込むことはありますか？

「年齢のせいかな」と見過ごされがちですが、むせは食べ物や飲み物が気管に入りそうになったときに起こる大切な体のサインです。むせが起こる背景には、加齢による飲み込む力の低下や、脳の病気、体の衰えなどが関係しています。以前は問題なく食べられていた人でも、少しずつ機能が低下し、気づかないうちにむせやすくなる場合があります。また、体調が悪いときや疲れているときも、むせやすくなる場合があります。これが続くと、誤嚥性肺炎など

の原因になることもあります。むせを防ぐためには、日常のちょっとした工夫が大切です。まず1つ目は「姿勢」です。食事の際は軽くあごを引き、背筋を伸ばしてすわることで、食べ物が入る方向へ流れやすくなります。足の裏をしっかりと床につけ、安定した姿勢で食べることが大切です。テレビを見ながらや、横を向いたままの食事はむせやすくなるため注意が必要です。

2つ目は「一口量」です。一度にたくさん口に入れると、うまく飲み込みきれず、むせの原因になります。「少しずつ」を意識することで、安全に食べることができます。

3つ目は「ゆっくり食べる」とです。急いで食べると、飲み込むタイミングが乱れやすくなります。水分と食事を交互にとりながら、自分のペースで食べるのが大切です。

当院の摂食嚥下チームでは、みなさまがおいしく、安全に食事を食べ続けられるように支援させていただきます。

問 市立長浜病院  
☎ 68・2300(代表)